

***本リリースは中央ヨーロッパ時間の1月27日(水) 10:00に情報解禁となります。
それまでの間は機密事項としてお取り扱いいただきますようお願い致します。***

プレスリリース

Genelec 「The Ones」がモッテン・リンドベルグの 見事なイマーシブ・スタジオを強化

ノルウェー、オスロ、2021年1月.....イマーシブ・ミュージックのレコーディングの世界において、グラミー賞を受賞したサウンド・エンジニアであり音楽プロデューサーでもあるモッテン・リンドベルグ以上に黄金時代を築いた者はありません。1992年に自身の制作会社、Lindberg Lydを拠点としてレコーディングのキャリアを開始したリンドベルグは、ノルウェー内外の作曲家やパフォーマー達を起用した高音質のレコーディングに特化した [2L record label](#) を設立。この度、さらにその音質の水準を高めるべく、リンドベルグは新たにポストプロダクション・スタジオのモニタリング・システムをアップグレード。Genelecのスマート・アクティブモニターとウーファー・システムを用いた7.1.4環境を構築しました。

「一度イマーシブ・オーディオを経験すると、ステレオに戻るのが本当に難しくなります。90年代はじめにレコーディング作業を始めた頃はステレオが唯一の概念で、ただそれだけに取り組んでいました。サラウンド・サウンドが登場したの2000年代はじめのことで、音楽制作に新たな展望が開けました。私たちがイマーシブ・オーディオの実験を始めた当初、ハイトの空間が加わることで獲得できると期待したことは、単にディテイルや解像度のレベルが上がるということだけでした。つまり、楽器の演奏や音符流れを表現するためにどれだけの空間が確保できるか、キャンバスにコードの響きを描くために必要なサイズは……などといったことです。しかし、実際はそういう事ではありませんでした。ハイト成分によって得られたものは、エモーショナルな要素だったのです。サウンドスケープに3次元の空間を加えることによって、10倍ものエモーショナルな衝撃をリスナーへ与えることが可能になったのです」とリンドベルグは語ります。

新たにアップグレードされたリンドベルグのポストプロダクション・スタジオは。イマーシブ・オーディオの編集、ミックス、マスタリング用として設計されました。Dolby Atmos と Auro-3D の両方に対応したモニタリング・システムは、「The Ones」シリーズで構成。まずはベース・レイヤーに設置された7つの同軸3ウェイ・モニター [8351B](#) とそれぞれに加えられたアダプティブ・ウーファー・システムの [W371A](#)。ハイト用には軽くてコンパクトな [8341A](#) を4本用意。LFEにはサブウーファー [7380A](#) に加え、120Hz以上の周波数帯域を確認する用途で、2ウェイ・ニアフィールド・モニター [8320A](#) を7380Aの天辺付近に配置。これは流通前の最終段階となるマスタリングにおいて、LFEチャンネルの内容の確認を行うためのチェックポイントとして機能します。

リンドベルグは続けます。「The Ones の同軸設計は、素晴らしいイメージングが得られることを実感しました。サラウンドだけでなくフル・サラウンドでもその実力を発揮するもので、そしてソースのディテールの詳細を保持したまま空間の高さを拡張することができるのです。私たちが使用するすべての The Ones は、単体でも広範囲にわたるバンド幅を再生する実力がありますが、W371A が加わることによってより意図して体感的かつ感触的な音の側面にリーチでき、音の振動に至るまでサウンドとして体感することを可能としたのです」

また、リンドベルグは「私達人間の体は、全身が非常に洗練されたセンサーのシステムとして機能しており、体で体感する音楽というのは伝統的なオーディオの定義を覆すものです。W371A ウーファーでは指向性のモードを切り替えることができるので、小さい部屋やなんらかの妥協せざるを得ない環境での作業に役立ちます。しかし、このスタジオの用に広く音響が整備された全体的なクオリティが高い部屋の場合、W371A の標準的な設定での状態が最も開放的で自然な響きをもたらし、お腹にまで響くような触覚体験を実現するのです」と話します。

リンドバークは [GLM](#) (Genelec Loudspeaker Manager) を利用して、モニタリング・システムの接続管理/キャリブレーション/コントロールを行なっています。「私達のリスニング・ポジションと作業空間を測定することによって、この特定の部屋に合わせた最適化が手際よくできるんです」とリンドベルグはコメントしています。「GLM の最も優れている点として、ネットワークに接続するスピーカーの数やその設置、設定の状況に応じて臨機応変に対応できるということがあります。加えて GLM はモニター・コントローラーとしても機能し、全てのスピーカーにアクセス可能です」

ただし、経験や能力、優秀なテクノロジーがリンドベルグの卓越したレコーディングに明らかに必要不可欠な要素だとしても、彼は音楽制作における真の任務を見失うことは決してありません。「私たちにとって完璧なレコーディングとは、聴く人の涙や笑いを誘うことができるものです。エモーションこそ、すべてです」

詳しくは www.genelec.jp や www.2L.no をご覧ください。

以上

Genelec について

1978 年の創立以来、Genelec はプロフェッショナル・オーディオ・モニタリングをビジネスの主軸としてきました。研究開発への飽くなき取り組みが革新的な技術を生み出し、Genelec はアクティブ・モニター業界を牽引する存在となりました。創立から 40 年経過した今でも、Genelec のモニター製品は当初の哲学を忠実に守り、サイズに関わらず信頼性の高いニュートラルなサウンド再生と、リスニング環境の音響条件へ適応する機能を提供します。Genelec ユーザーは、音響的なアドバイスやキャリブレーション・サービス、テクニカル・サービス、そして長期の製品寿命など、最高のサポートを受けることができます。Genelec 製品を購入することは、オーディオ・モニタリングに対する堅実な投資となるでしょう。

お問い合わせ先: 株式会社ジェネレックジャパン | マーケティング

電話番号: +81(0)3 6441 0591 email: press@genelec.com